

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・GHの立地として、山に隣接しており、大雨等での崖くずれのリスクがある。避難訓練は実施しているが、日頃から職員の意識を高めていく必要がある。また、備蓄品についても定期的に確認していく。電気が使えなくなった時の暖房器具も用意していく。	・災害発生時の職員の動きを確認していく。 ・夜間、職員以外の協力が得られるような地域の方々との関係を構築していく。	・第3金曜日を防災の日とし、設備点検と場所の確認をして、職員の防災意識を高める。 ・運営推進会議等で、近隣住民の方々に広く情報を開示し、協力体制を作っていく。	12ヶ月
2	12	・重度になってきている入居者がいる。ターミナルケアを行うにあたり、ご本人に寄り添うケアと医療面での連携がかかせない。家族の意向も反映させなければならない。他の利用者への配慮も必要である。経験のない職員もいる。	・家族の意向をきちんと聞き、確認して、GHでの看取りが可能か見極める。全職員に共通の意識をもってもらう。	・日頃から家族との連絡をとり、意向の確認と、信頼関係の構築に努めていく。 ・ターミナルケアについて、職員が不安にならないように対応について話し合い、情報を共有していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。